



感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 平成 26 年 第 47 週（平成 26 年 11 月 17 日～平成 26 年 11 月 23 日）

今週の注目される疾患

全数把握対象疾患では、一類、二類感染症（結核を除く）及び三類感染症の届出はなかった。四類感染症はレジオネラ症 2 人の届出があった。五類感染症は、急性脳炎 1 人、後天性免疫不全症候群 1 人、侵襲性インフルエンザ菌感染症 1 人、侵襲性肺炎球菌感染症 5 人、水痘(入院例)1 人、梅毒 6 人、破傷風 1 人、薬剤耐性アシネトバクター感染症 1 人の届出があった。

定点把握対象疾患では、RSウイルス感染症(1.44 2.04)の定点当たり報告数は、前週より大きく増加し、前年までの最大値 1.44 を超えた。保健所別では、加須(1.60 3.20)、鴻巣(1.33 2.92)保健所管内で大きく増加し、幸手(5.22)、本庄(3.25)保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では、1 歳以下で 64.8%を占めている。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎(2.56 2.66)の定点当たり報告数は前週より微増し、前年同時期(46～48 週平均 1.97)より多い状況が続いている。保健所別では、坂戸(1.33 5.67)保健所管内で大きく増加し、熊谷(4.67)、川越市(4.50)、朝霞(4.20)保健所管内からの報告が多い。インフルエンザ(0.72 1.83)及び感染性胃腸炎(6.54 8.20)の定点当たり報告数は前週に引き続き増加した。インフルエンザは定点当たり報告数 1.00 を超え今シーズンの流行期に入ったと思われる。保健所別では、前者は幸手(4.29)、鴻巣(2.58)保健所管内、後者は東松山(19.60)、熊谷(13.78)、川口(13.00)保健所管内からの報告が多い。伝染性紅斑(0.39 0.49)の定点当たり報告数は前週より増加し、前年同時期(46～48 週平均 0.07)より多い。保健所別では、朝霞(1.00)、狭山(1.00)、草加(0.82)からの報告が多い。眼科定点報告対象疾患では、流行性角結膜炎 15 人(前週 19 人)の報告があった。基幹定点報告対象疾患では、マイコプラズマ肺炎 6 人、インフルエンザ(入院)1 人の報告があった。

< 全数把握対象疾患の患者情報 >

一類感染症	報告なし	
二類感染症	報告なし（結核を除く）	
三類感染症	報告なし	
四類感染症	レジオネラ症	2人（病型 肺炎型 1人、 ポンティアック熱型 1人）
五類感染症	急性脳炎	1人（病原体 単純ヘルペス）
	後天性免疫不全症候群	1人（病型 無症状病原体保有者）
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1人
	侵襲性肺炎球菌感染症	5人
	水痘(入院例)	1人（病型 検査診断例）
	梅毒	6人（病型 早期顕症 期 6人）
	破傷風	1人
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	1人

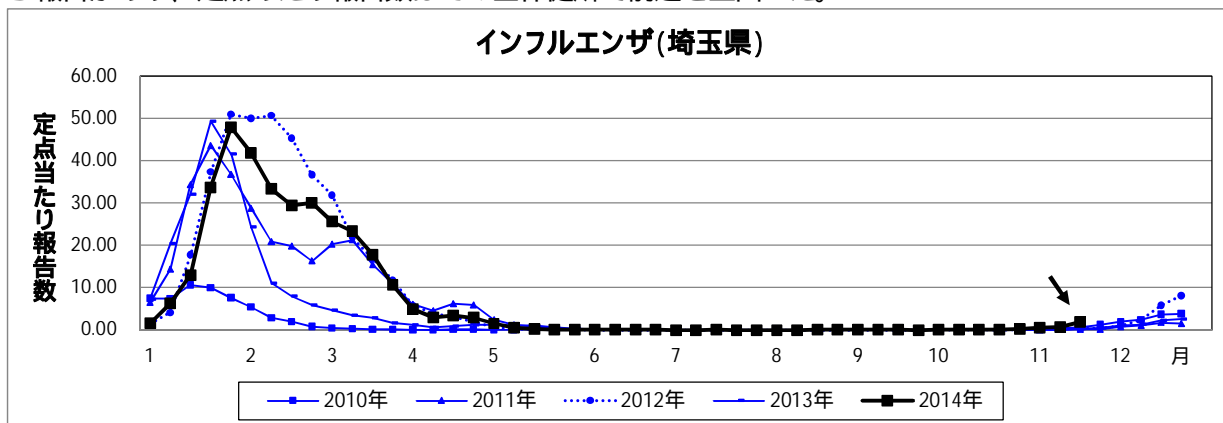
1 この情報に関する御質問・御意見等がございましたら、下記まで御連絡ください。
衛生研究所 感染症情報担当者会議(感染症疫学情報担当) TEL: 0493-59-9325 FAX: 0493-59-9613
e-mail: p5349952@pref.saitama.lg.jp URL: <http://www.pref.saitama.lg.jp/site/surveillance/>

2 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ
(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>) で御覧になれます。

注目すべき疾患

- インフルエンザ -

インフルエンザは、県全体で 435 人の報告があり、定点当たり報告数(0.72 1.83)は前週より増加し、前年同時期(46～48 週平均 0.31)と比べ多い。保健所別では、秩父保健所を除く 14 保健所管内から報告があり、定点あたり報告数はその全保健所で前週を上回った。



- インフルエンザウイルス検出状況 -

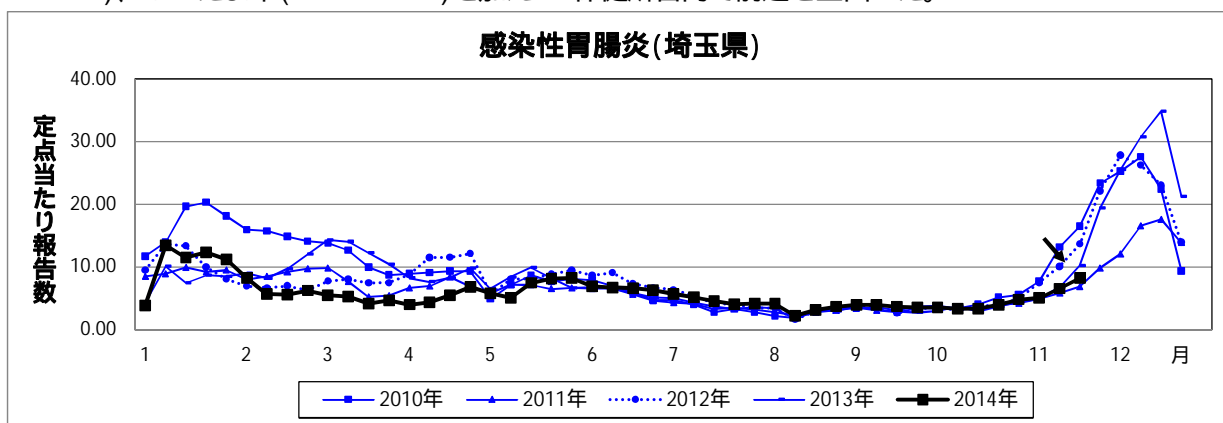
前週以降第47週までに熊谷(3人)、加須(1人)保健所管内で採取された検体から、新たにA香港が4件検出され、9月以降の検出は、A香港が14件となった。

年齢階級別インフルエンザウイルス検出状況

2014年36週から		年齢階級							計
		0～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	
AH1pdm09	今週検出分	-	-	-	-	-	-	-	-
	累積	-	-	-	-	-	-	-	-
AH3(A香港)	今週検出分	1	3	-	-	-	1	-	4
	累積	4	8	-	-	-	1	1	14
B型	今週検出分	-	-	-	-	-	-	-	-
	累積	-	-	-	-	-	-	-	-

- 感染性胃腸炎 -

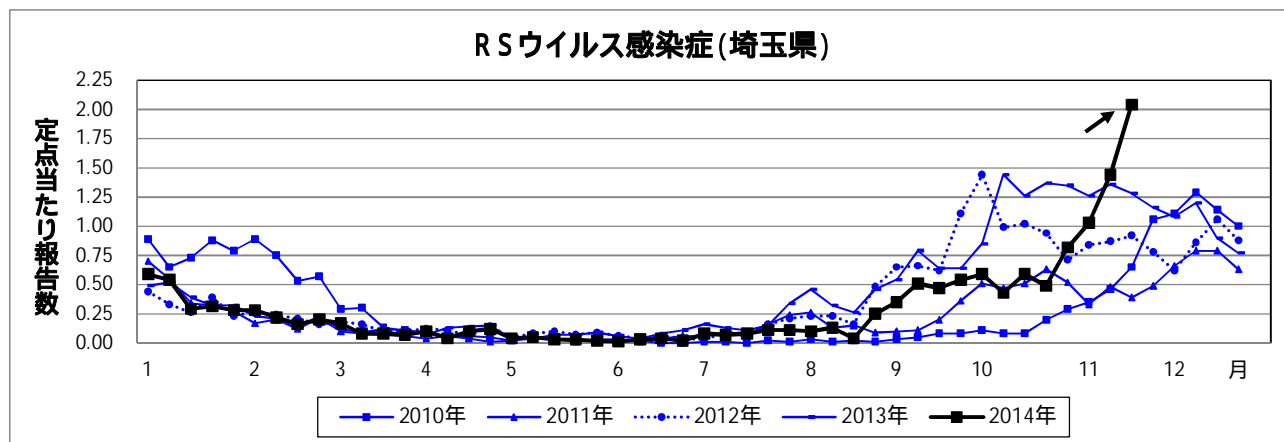
感染性胃腸炎は、県全体で 1,246 人の報告があり、定点当たり報告数(6.54 8.20)は前週に引き続き増加した。保健所別では、全保健所管内から報告があり、前週より大きく増加した東松山(15.80 19.60)、さいたま市(9.00 12.56)を加え 11 保健所管内で前週を上回った。



< 定点把握対象疾患の患者情報 >

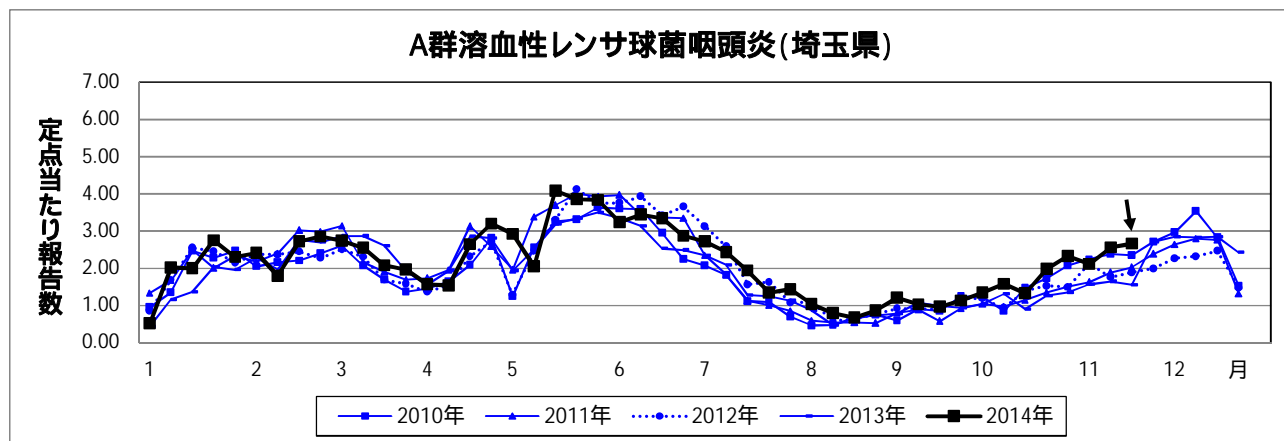
RSウイルス感染症

県内全保健所から報告があった。保健所別では、幸手(5.22)、本庄(3.25)、加須(3.20)、鴻巣(2.92)保健所管内からの報告が多い。



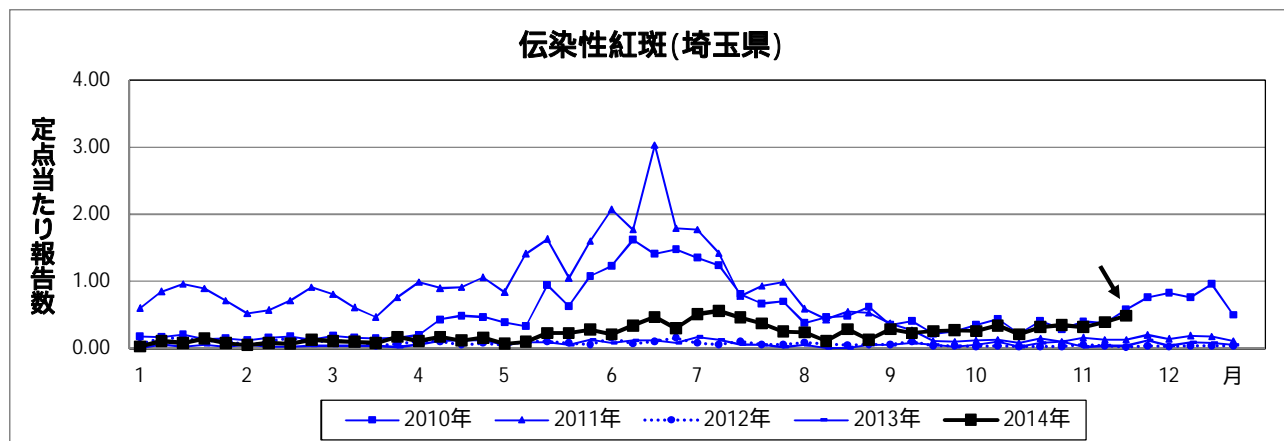
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

県内全保健所から報告があった。保健所別では、坂戸(5.67)、熊谷(4.67)、川越市(4.50)、朝霞(4.20)保健所管内からの報告が多い。



伝染性紅斑

県内 11 保健所から報告があった。保健所別では、朝霞(1.00)、狭山(1.00)、草加(0.82)保健所管内からの報告が多い。



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第47週)

(2014年 11月 25日 15:00集計)

	今週 届出	累計		今週 届出	累計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			重症急性呼吸器症候群		
結核*	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		2
細菌性赤痢		1	パラチフス		1
腸管出血性大腸菌感染症		261			
四類感染症					
E型肝炎		7	鳥インフルエンザ(H5N1を除く)		
ウエストナイル熱			ニパウイルス感染症		
A型肝炎		8	日本紅斑熱		
エキノкокクス症			日本脳炎		
黄熱			ハンタウイルス肺症候群		
オウム病			Bウイルス病		
オムスク出血熱			鼻疽		
回帰熱			ブルセラ症		1
キャサヌル森林病			ベネズエラウマ脳炎		
Q熱			ヘンドラウイルス感染症		
狂犬病			癩しんチフス		
コクシジオイデス症			ポツリヌス症		
サル痘			マラリア		2
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		1
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症	2	47
つつが虫病			レプトスピラ症		
デング熱		14	ロッキー山紅斑熱		
東部ウマ脳炎					
五類感染症					
ア메ーバ赤痢		39	侵襲性肺炎球菌感染症	5	66
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		8	水痘*	1	2
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症		2	先天性風しん症候群		
急性脳炎	1	23	梅毒	6	45
クリプトスポリジウム症		1	播種性クリプトコックス症		2
クロイツフェルト・ヤコブ病		5	破傷風	1	5
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		8	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
後天性免疫不全症候群	1	39	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		6
ジアルジア症		1	風しん		10
侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	9	麻しん		29
侵襲性髄膜炎菌感染症		1	薬剤耐性アシネトバクター感染症	1	1
指定感染症					
中東呼吸器症候群(MERS)			鳥インフルエンザ(H7N9)		

水痘* : 患者が入院を要すると認められるものに限る。

ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)再掲	B型	C型	D型	その他
累計	8			

累計は診断日で集計

* 結核は月単位で集計、別に掲載します。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (第47週 平成26年11月17日～平成26年11月23日)

	合計																				
	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～	
インフルエンザ #1	435	3	4	7	11	10	20	38	45	40	29	29	112	11	10	21	21	8	4	7	5
RSウイルス感染症	310	47	58	96	52	28	16	10	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	64	-	-	20	10	8	11	6	4	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	405	1	2	4	23	25	43	59	56	46	47	34	53	2	10	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	1,246	14	69	171	132	123	114	108	99	70	48	57	108	15	118	-	-	-	-	-	-
水痘	161	1	8	15	18	18	32	23	15	11	13	2	5	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	97	-	1	24	19	20	12	8	7	3	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	75	-	-	1	7	6	15	20	7	7	5	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	111	2	44	55	6	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
ヘルパンギーナ	12	-	2	3	4	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	58	-	-	3	1	9	6	12	9	5	4	2	5	1	1	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	15	-	-	1	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	1	3	3	2	1	1	1
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	6	-	-	2	1	-	-	1	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(入院)インフルエンザ	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表中の数値は各定点からの報告数(- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報
第 45 週

(11月3日～11月9日)

平成26年11月26日

インフルエンザの定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は長崎県(1.09)、埼玉県(0.56)、沖縄県(0.55)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は12例と前週と同値であり、7県から報告があった。

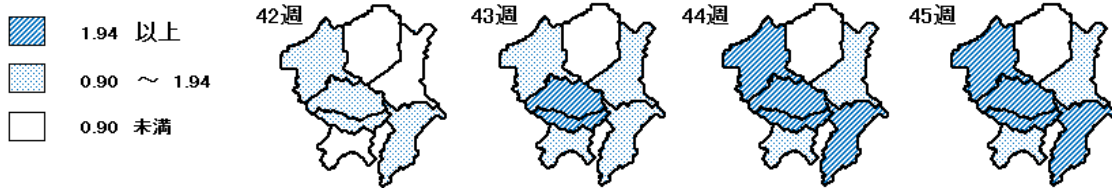
RSウイルス感染症の報告数は3,343例と減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約73%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は北海道(1.39)、鳥取県(1.11)、青森県(1.05)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は北海道(3.03)、鳥取県(3.00)、福岡県(2.74)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は香川県(9.14)、大分県(6.64)、岡山県(6.52)である。水痘の定点当たり報告数は第39週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は長野県(2.09)、新潟県(2.07)、青森県(1.60)、山形県(1.60)である。手足口病の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は沖縄県(3.03)、愛媛県(2.89)、山形県(2.17)である。百日咳の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は高知県(0.10)、沖縄県(0.09)、広島県(0.08)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第36週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は宮崎県(0.64)、愛媛県(0.62)、新潟県(0.57)である。

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は石川県(1.00)、秋田県(0.75)、埼玉県(0.70)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は減少した。6県から6例報告があり、年齢別では1～4歳(3例)、5～9歳(2例)、50代(1例)であった。

<関東情報>

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は、群馬県(2.20)、埼玉県(2.12)、東京都(2.02)、千葉県(1.94)からの報告が多い。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



平成26年 45週

	全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数 1,098 定点当たり 0.22	511 0.35	10 0.08	11 0.14	13 0.13	136 0.56	81 0.39	161 0.39	99 0.31
RSウイルス感染症	報告数 3,343 定点当たり 1.06	787 0.84	46 0.61	64 1.33	41 0.68	161 1.03	85 0.64	268 1.03	122 0.60
咽頭結膜熱	報告数 1,223 定点当たり 0.39	299 0.32	17 0.23	9 0.19	39 0.65	37 0.24	32 0.24	122 0.47	43 0.21
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数 5,346 定点当たり 1.70	1,650 1.76	113 1.51	35 0.73	132 2.20	333 2.12	256 1.94	524 2.02	257 1.27
感染性胃腸炎	報告数 13,159 定点当たり 4.19	4,135 4.42	354 4.72	85 1.77	201 3.35	791 5.04	478 3.62	1,194 4.59	1,032 5.08
水痘	報告数 3,042 定点当たり 0.97	824 0.88	71 0.95	35 0.73	37 0.62	136 0.87	112 0.85	227 0.87	206 1.01
手足口病	報告数 2,039 定点当たり 0.65	592 0.63	61 0.81	40 0.83	21 0.35	121 0.77	115 0.87	155 0.60	79 0.39
伝染性紅斑	報告数 608 定点当たり 0.19	347 0.37	12 0.16	9 0.19	2 0.03	51 0.32	38 0.29	124 0.48	111 0.55
突発性発しん	報告数 1,672 定点当たり 0.53	536 0.57	21 0.28	17 0.35	26 0.43	95 0.61	66 0.50	171 0.66	140 0.69
百日咳	報告数 37 定点当たり 0.01	8 0.01	-	-	2 0.03	3 0.02	-	2 0.01	1 0.00
ヘルパンギーナ	報告数 396 定点当たり 0.13	101 0.11	6 0.08	4 0.08	6 0.10	17 0.11	15 0.11	43 0.17	10 0.05
流行性耳下腺炎	報告数 880 定点当たり 0.28	234 0.25	7 0.09	4 0.08	5 0.08	53 0.34	72 0.55	59 0.23	34 0.17
急性出血性結膜炎	報告数 3 定点当たり 0.00	2 0.01	-	-	-	-	-	-	2 0.05
流行性角結膜炎	報告数 292 定点当たり 0.43	104 0.53	9 0.53	3 0.25	16 1.23	13 0.32	15 0.44	18 0.46	30 0.71
細菌性髄膜炎 #2	報告数 5 定点当たり 0.01	3 0.04	-	-	-	-	2 0.22	1 0.04	-
無菌性髄膜炎	報告数 11 定点当たり 0.02	6 0.07	-	1 0.14	1 0.13	1 0.10	1 0.11	2 0.08	-
マイコプラズマ肺炎	報告数 130 定点当たり 0.27	27 0.33	-	4 0.57	5 0.63	7 0.70	4 0.44	6 0.24	1 0.10
クラミジア肺炎 #3	報告数 11 定点当たり 0.02	2 0.02	-	-	-	2 0.20	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数 6 定点当たり 0.01	2 0.02	-	-	1 0.13	-	1 0.11	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-:0.00)

[トップページ](#) > [組織でさがす](#) > [衛生研究所](#) > [感染症情報センター](#) > 感染症の流行状況 2014年 第47週

感染症情報センター

感染症の流行状況 2014年 第47週

[通常ページへ戻る](#) 掲載日:2014年11月26日更新

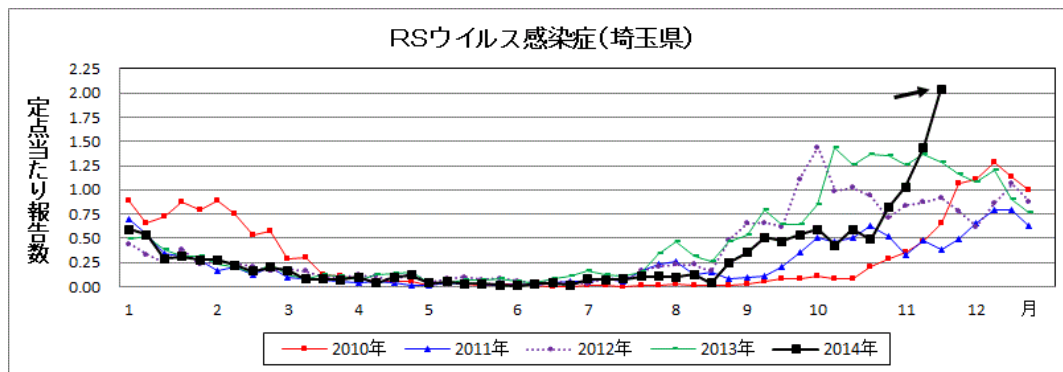
2014年 第47週(平成26年11月17日～11月23日)の要点 平成26年11月26日

[RSウイルス感染症](#)の定点当たり報告数は、前年までの最大値を超え、多い状況が続いています。外出後の手洗い・うがいとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早目に受診してください。

[インフルエンザに関する情報はこちらをご覧ください。](#)

[麻疹に関する情報はこちらをご覧ください。](#)

[風しんに関する情報はこちらをご覧ください。](#)



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	↑		伝染性紅斑	↑	
RSウイルス感染症	↑		突発性発しん	↑	
咽頭結膜熱	→		百日咳	↓	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→		ヘルパンギーナ	→	
感染性胃腸炎	↑		流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	→	
水痘(みずぼうそう)	→		急性出血性結膜炎	→	
手足口病	↓		流行性角結膜炎	→	

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) *3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい ← 、 ⇒ 大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」(アドレス <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。但し、祝日等により変更の場合もあります。

